

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第30週 平成16年7月19日(月)～平成16年7月25日(日)

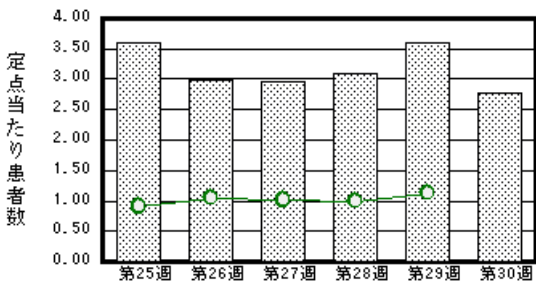
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

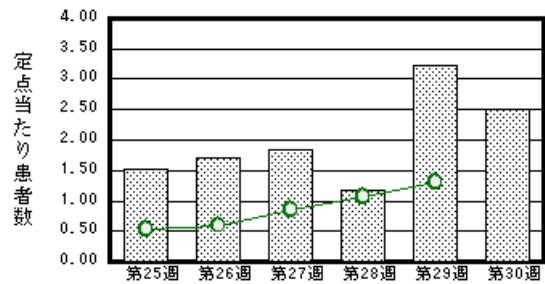
注目疾患の動向

- 1 **【報告数の多い疾患】** 流行性耳下腺炎 (64名) 手足口病 (58名) ヘルパンギーナ (40名)
突発性発疹 (39名) 感染性胃腸炎 (31名)
- 2 **【流行性耳下腺炎】**患者報告数が減少 (63名 64名)しましたが、唐津保健所管内では前週と同数報告されています(51名)。
- 3 **【手足口病】**患者報告数が減少しました (74名 58名)。
- 4 **【咽頭結膜熱】**県内の患者報告数は減少 (12名 8名)していますが、全国的には流行が続いています。

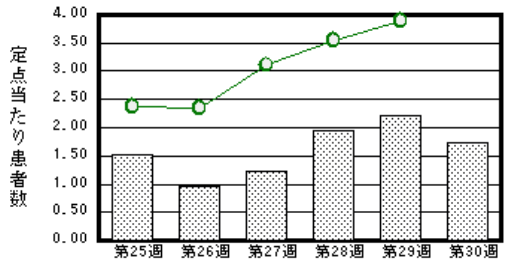
流行性耳下腺炎



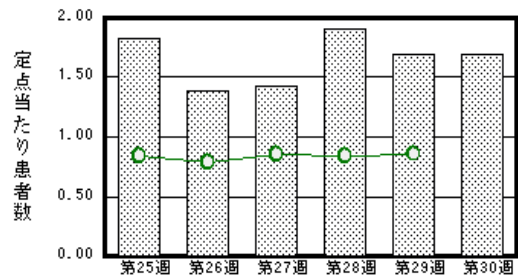
手足口病



ヘルパンギーナ



突発性発疹



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第28週号 (7月5日～7月11日)要点

・ 発生動向総覧	< 第28週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は第26週に過去10年間の全ての週と比較して最高値を示した後も、最高値を更新し続けている
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 例年報告のピークは夏季にあるので、一層の注意が必要である
・ 病原体情報	咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス2004年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2004年
・ 速報	2003年1月～2004年7月に都内で発生した髄膜炎菌性髄膜炎について / 帰国者におけるコレラ患者発生に係る情報提供
・ 海外感染症情報	ボリビアでのボリビア出血熱流行 / ダニ媒介性脳炎 (TBE)
・ 感染症の話	< 今週は該当記事はありません >

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症 (佐賀県)	
疾病名	A型肝炎 (四類感染症)
患者 (住所地)	1名 (50歳代女性) (佐賀市)
平成16年届出累計	2名
平成15年	同期
	届出累計
	3名
	5名

A型肝炎については、国立感染症情報センター「感染症の話」をご覧ください。

http://idsc.nih.go.jp/kansen/k04/K04_14/k04_14.html

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成16年第30週

平成16年7月19日 (月) ~ 平成16年7月25日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第29週)	
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								15 0.00	
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								40	
	咽頭結膜熱	1 0.13	5 1.67	1 0.25		1 0.20	8 0.35	12 0.52	3686 1.21	
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	9 1.13	3 1.00	1 0.25		2 0.40	15 0.65	22 0.96	3139 1.03	
	感染性胃腸炎	10 1.25	12 4.00	4 1.00		5 1.00	31 1.35	42 1.83	9008 2.96	
	水痘	3 0.38			11 2.75	4 1.33	3 0.60	21 0.91	23 1.00	3014 0.99
	手足口病	16 2.00	27 9.00	8 2.00			7 1.40	58 2.52	74 3.22	3954 1.30
	伝染性紅斑				1 0.25			1 0.04	10 0.43	1240 0.41
	突発性発しん	6 0.75	7 2.33	11 2.75	5 1.67	10 2.00		39 1.70	39 1.70	2615 0.86
	百日咳								1 0.04	49 0.02
	風しん									62 0.02
	ヘルパンギーナ	18 2.25	9 3.00	1 0.25	3 1.00	9 1.80	40 1.74	51 2.22	11839 3.89	
	麻しん (成人 麻しんを除く)									34 0.01
	流行性耳下腺炎	5 0.63	4 1.33	51 12.75	2 0.67	2 0.40	64 2.78	83 3.61	3445 1.13	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								18 0.03	
	流行性角結膜炎							2 0.50	566 0.89	
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								16 0.03	
	無菌性髄膜炎								44 0.09	
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 0.17	1 0.17	105 0.22	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								4 0.01	
	成人麻しん								1 0.00	

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は28週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成16年第30週 平成16年7月19日(月)~平成16年7月25日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満					1			1			2			6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満				1	1	6		26			4		1	12ヶ月未満					1			
1歳		1歳		2	1	8	3	17		10			14		3	1歳								
2歳		2歳				2	6	12		2			7		7	2歳								
3歳		3歳		1	4	5	3	8					6		13	3歳								
4歳		4歳		1	2	3	4	6					3		10	4歳								
5歳		5歳		1	3	2	2	5					3		10	5歳								
6歳		6歳		1	3	3		2	1						9	6歳								
7歳		7歳				2	1	2							4	7歳								
8歳		8歳		1		1									3	8歳								
9歳		9歳				2									2	9歳								
10歳~14歳		10歳~14歳		1	2								1		2	10歳~14歳								
15歳~19歳		15歳~19歳				1										15歳~19歳								
20歳~29歳		20歳以上				1										20歳~29歳								
30歳~39歳																30歳~39歳								
40歳~49歳																40歳~49歳								
50歳~59歳																50歳~59歳								
60歳~69歳																60歳~69歳								
70歳~79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計		合計		8	15	31	21	58	1	39			40		64	合計						1		
前期計		前期計		12	22	42	23	74	10	39	1		51		83	前期計		2				1		
当期間/前	***	当期間/前	***	0.67	0.68	0.74	0.91	0.78	0.1	1		***	0.78	***	0.77	当期間/前	***		***	***	1	***	***	
増減数		増減数		-4	-7	-11	-2	-16	-9		-1		-11		-19	増減数		-2						

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

